

令和7年度 第3回尾張旭市介護保険運営協議会会議録

1 開催日時

令和8年3月17日（火）

開会 午後1時30分

閉会 午後2時30分

2 開催場所

市役所3階 講堂1、2

3 出席委員

小塩泰代、可児寿英、鷺尾幸子、古橋完美、秋田誠、岡田敏彦、柴田豊、與語純子、長谷川裕子、斎藤恵津子、鈴木亮二、橋本千尋、瀬木敦子、藤川千恵（計14名）

4 欠席委員

日比野壮貴（1名）

5 傍聴者数

なし

6 出席した事務局職員

長寿課長 坂田みどり、長寿課長補佐兼長寿支援係長 秋山さちこ、長寿課介護保険係長 佐藤隆亮、長寿課庶務係長 松平康介、長寿課主事 中島万由子、地域包括支援センター所長 松野宏美、地域包括支援センター次長 星原淳一、オブザーバー 株式会社サーベイリサーチセンター名古屋事務所 杉田純一 田口直美 齋藤ひかり

7 議題

- (1) 介護予防支援委託業務に係る指定居宅介護支援事業者の新規承認について（資料1）
- (2) 令和8年度尾張旭市地域包括支援センター事業計画について（資料2）
- (3) 地域包括支援センターの整備について
- (4) 尾張旭市地域密着型サービス事業者の廃止について（資料3）
- (5) 尾張旭市地域密着型サービス事業者募集結果について（資料4）
- (6) 生活支援体制整備事業の実績報告について（資料5）
- (7) 第10期高齢者保健福祉計画の策定について（資料6）
- (8) その他（資料7）

8 会議要旨

<p>&lt; 開 会 &gt; 事 務 局</p>	<p>長寿課長の坂田でございます。定刻となりましたので、始めさせていただきます。</p> <p>本日は、お忙しい中、令和7年度第3回尾張旭市介護保険運営協議会にお集まりいただき、ありがとうございます。本日は、日比野委員から、都合により御欠席と伺っておりますが、14名の委員の御出席をいただいております、尾張旭市介護保険運営協議会規則第5条第2項の規定にあります定足数に達しておりますことを、報告させていただきます。</p> <p>なお、この協議会は、尾張旭市附属機関等の基本的取扱いに関する要綱第6条の規定に基づき、公開により開催されます。</p> <p>それでは、開会に当たりまして、会長の小塩様からあいさつをいただきます。</p>
<p>小 塩 会 長</p>	<p>** あいさつ **</p>
<p>長 寿 課 長</p>	<p>それでは、議事に入る前に、本日の資料の確認をさせていただきます。</p>
	<p>** 資料の確認 **</p>
	<p>それでは、以降の議事の進行につきましては、会長にお願いしたいと思います。</p>
<p>小 塩 会 長</p>	<p>それでは、議題に入ります。本日は、議題が8件ございます。</p>
	<p>初めに、議題(1)「介護予防支援委託業務に係る指定居宅介護支援事業者の新規承認について」地域包括支援センターから説明をお願いします。</p>
<p>地域包括支援センター 松 野 所 長</p>	<p>** 説明 **</p>
<p>小 塩 会 長</p>	<p>ただいまの説明につきまして、御意見、御質問はございませんでしょうか。</p>
	<p>ないようですので、次の議題に移りたいと思います。</p>
	<p>議題(2)「令和8年度尾張旭市地域包括支援センター事業計画について」地域包括支援センターから説明をお願いします。</p>
<p>地域包括支援センター 松 野 所 長</p>	<p>** 説明 **</p>
<p>小 塩 会 長</p>	<p>ただいまの説明につきまして、御意見、御質問はございません</p>

<p>岡田委員</p>	<p>でしょうか。</p> <p>介護に携わる方の研修を増やすといったところはいいなと思っていますが、一番ポイントかなと感じているのは、地域ネットワークの構築の中でも書かれている「支援を必要とする高齢者を見出し」です。特に最近は高齢者の独居が増えていますが、町内会の加入率も50%と全員が参加しているわけではないので、町内でもなかなか把握しにくいところがあります。ネットなどでは、例えば新聞配達で、1週間程取られていないなどの変化を見て、地域包括支援センターへ連絡するといった協定を、配達業者と結んでいるような地域もあると聞きます。その部分について、今後どのようにされるのか、もっと具体的な案を考えてほしいなと思います。</p>
<p>小塩会長</p> <p>地域包括支援センター 松野所長</p>	<p>今のご質問、ご意見に対して回答いただけることがありましたらお願いいたします。</p> <p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>独居の方がこれから増えていきますので、心配な時代になってくるかと思えます。そうした中での取り組みとしましては、序盤にご説明しましたように地域相談窓口を3か所設置しております。こちらの施設の職員が調査に出向き、地域を訪問して回っております。また、地域の民生委員さんが秋頃に調査を行っており、できる限り独居の方や心配な方を見つけ出して必要に応じ相談に乗っているというような状況でございます。</p> <p>連携については、地域包括支援センターではなく、市の方で新聞配達やヤクルトといったところと協定を結び、事業者から連絡があれば地域包括支援センターにも連絡が来るようになっており、現地確認に行くなどしております。今年度については、実際にヤクルトさんから連絡を受け現地に駆けつけたところ、衰弱されていたものの救出ができたという事例もありましたので、今後ともそういった形で取り組みを続けていきたいと考えております。</p>
<p>小塩会長</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございました。もう1つ私の方からよろしいでしょうか。</p> <p>いただいた御意見の中で、独居高齢者の方をどのようにサポートするのか、把握していくのかということでは、独居の方が地域に出ていくような場や機会といったものがあると状況の把握もしやすいのかなと思うのですが、そういった機会がどのように作られているか、そこに対してどんなサポートがあるのかということをご説明いただければと思います。</p>

事務局	<p>事務局からお答えします。</p> <p>高齢者の方の集える場としては、地域包括支援センターと協力をしながら整理をしており、なるべく1人で過ごされないような仕組みを地域としては作っていく努力をしています。</p> <p>また、一人暮らしの方ということで特化するのであれば、高齢者の方が増えているので人海戦術は難しいのですが、2年前から一人暮らしの高齢者の方でご希望の方には、緊急通報装置というものを設置させていただいております。機械ですが24時間監視ができるということで、具合が悪くなって1人で衰弱していくことがないような仕組みを行政として確立できるよう取り組んでおります。</p>
小塩会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>いろいろな所にサロンなどもあるのかなと思います。市役所、地域包括支援センターの方で連携をしながら対応をしていただいているということで、こういったところでは安心かなと思います。なかなか難しい事業・活動名なのでイメージができないところもあるのかなと思いますが、御意見、御質問よろしいでしょうか。</p> <p>ないようですので、次の議題に移りたいと思います。</p> <p>議題(3)「地域包括支援センターの整備について」事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>** 説明 **</p>
小塩会長	<p>ただいまの説明につきまして、御意見、御質問はいかがでしょうか。</p> <p>ないようですので、次の議題に移りたいと思います。</p> <p>議題(4)「尾張旭市地域密着型サービス事業者の廃止について」事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>** 説明 **</p>
小塩会長	<p>ただいまの説明について、御意見、御質問はいかがでしょうか。</p> <p>ないようですので、次の議題に移りたいと思います。</p> <p>議題(5)「尾張旭市地域密着型サービス事業者募集結果について」事務局から説明をお願いします。</p>

事務局	** 説明 **
小塩会長	ただいまの説明について、御意見、御質問はいかがでしょうか。
秋田委員	<p>先程のサービス事業所の廃止についてと、募集についての2つの内容について、質問させていただきます。</p> <p>まず、行政側と事業所さん側で日頃どのようなやり取りをされているのかを聞きたいと思います。答えていただきたいのは、「今こんなことをやっていますよ」ではなく、もっと望ましい姿を求めていくために、前向きにどんなことを考えておられるのか、次なる一手のようなところを聞きたいと思います。そもそもなぜそう思ったのか、介護保険制度と地域密着型サービス事業の名前から連想して質問させていただきます。</p> <p>今、国等では社会保障制度がいろいろと議論されているところですので、国及び県からの指導の下に、そうしたところで大きなルールを作られた上で、地域でそれを実現していきましようといった大きな流れがあるのかなと想像しておりますが、介護保険制度という、「尾張旭市行政が」というところに行きつくと思えますし、地域密着型サービス事業という、やはり「原則各市町村で」ということになると思えます。したがって、この地域密着型サービス事業が陳腐化していき、介護保険制度そのものの不信を買うようなことがあっては、そもそも介護保険制度そのものに問題を見つけ出さなければいけなくなってしまうのではないかというような心配が出てくるので、住み慣れた地域で安心して高齢者が最期まで生きていくために、地域の事業者さんたちの手によってしっかり取り組んでいきましようという枠組みだと思っております。</p> <p>したがって、理由はわかりませんが、昔から尾張旭市でこの分野を一生懸命今の状況にもっていったくださったリーダー的な事業者さんが減少していく、そして、新たな地域密着型のサービス事業者を募集しても上手く応募者が集まらない。行政側も事業者さん側もそれぞれに理由があると思えますし、公平で公正な契約関係を行政が結ばなければいけないことによるハードルの高さもわかりますが、地域で暮らす人たちのために行政が保険制度を設けている中では、やはりある程度行政側もそれを受け、地域でやってくださる事業者の方々とコミュニケーションをしっかりと取って、情報提供をしたり、実情を吸い上げたりと、共にルールを守って、作り上げていく、そんな意気込みが必要かなと思えます。</p> <p>そうしたことから、現在、どのように情報提供やコミュニケーションを取られているのか、これからどのように改めていけば良</p>

<p>小 塩 会 長</p>	<p>いのか、そうしたところをお聞かせただけだと思います。</p> <p>貴重なご意見かなと思います。 お答えできることはありますか。お願いいたします。</p>
<p>事 務 局</p>	<p>ご質問ありがとうございます。本当に貴重なご意見と言いますか、ごもつともなご指摘かなとお聞かせいただきました。</p> <p>ご指摘のとおり、地域密着型サービス事業者の方々は地域の特性を活かして、その地域に沿ったサービスを提供していただいております。利用者様方のニーズにきめ細かく対応いただいております。今回そういった事業者様からも応募がなかったこと、事業廃止ということは本市にとっても非常に残念な結果として受け止めているところです。そうした地域密着型サービス事業者様との関係性は非常に重要だと我々も感じておりました。現在では運営指導や運営推進会議といった場をいただき、そういった機会に情報交換や情報共有というものを行っているところです。ただ、今回の事業者募集の不調を受けて、これまで以上に事業者様とコミュニケーションを取っていくことが必要かなと思っております。我々ではなかなか直接的に感じるできない現場の方々の状況の把握や、必要なニーズというものの共有を図る必要性を今回非常に痛感しているところであります。</p> <p>実は先日、ある地域密着型サービスの事業者様と打ち合わせをさせていただく機会がございまして、その事業者様から市のことや利用者の方々のことをとても考えて事業を行っているお話をたくさん伺いました。小規模な事業所様ではありますが、地域のために一生懸命事業を行われている事業者さんを行政としてはしっかり支援をしていかなければならないなと改めて思いましたし、もっと市としてやれることはあるはずだと考えていたところです。</p> <p>そこで現在、課としても考えているところなのですが、例えば年1回程度事業者様と情報交換会といった形のものを開催することで、地域との連携を図る活動の報告をいただいたり、実際の経営状況等の情報共有をさせてもらったりなど、何かご相談事があればそういった相談をできる場を作ったりすることがまず一つ重要なのかなと考えております。</p> <p>それから、市として地域密着型サービス事業者様のために何かやれることはないかということで、例えば市のホームページなどを活用してその事業者様の取り組みの紹介や「今、空きがこれだけありますよ」などそういったものを公表していく。意外と利用者の方や市民の方々が「満床なのかな」という印象を持たれているかもしれないので、「実はこれだけ空いているよ」といったことを行政側から発信することも重要な役割なのかなというところ</p>

	<p>で、認知度を高めて、利用者様の確保につなげていただくといった取り組みを検討していきたいと考えております。</p> <p>これからも今まで以上に地域密着型サービス事業者様とコミュニケーションを取りながら、協力して、この住み慣れた尾張旭市という場所で安心して高齢者の方々が暮らしていけるようなサービスを提供していきたいと行政としても考えているところです。以上です。</p>
小 塩 会 長	<p>ありがとうございます。</p> <p>情報共有ができるような場を計画されているということですが、他にこの件でいかがでしょうか。</p>
橋 本 委 員	<p>前回の会議の時も秋田委員が発言されていましたが、生産年齢人口自体がやはり減少してきているので、制度があっても人がいなければ回らないという実情が現実としてあるのかなと思います。本当におっしゃるとおり、長く地域を支えてこられていた施設のデイサービスがまさかということをも実感として感じておりますが、介護人材の魅力を伝える取り組みや就労する介護職の人材に対する補助制度といった、地域に集まってくださるような提案が市の中でできるのであれば、それも一つの方法なのかなということも少し感じておりましたので発言させていただきました。</p> <p>包括的支援事業も始めることにはなりますが、それもやはり人がいなければ成り立たないというところを実感しつつ、その人材を育ててもらうのにも社会福祉協議会の地域包括支援センターの皆さんに本当に尽力いただいて実は成り立っているところがあります。そのチームが良い形になるのもそういった育成の場があるからだということに本当に感謝しております。お礼と兼ねさせていただきますが、今後の制度をよろしく願いいたします。</p>
小 塩 会 長	<p>他はいかがでしょう。</p>
斎 藤 委 員	<p>居宅介護支援事業所のケアマネジャーの立場で発言をさせていただきます。</p> <p>介護保険で必ず必要となる居宅介護支援事業所、いわゆるケアマネジャーという仕事をする者として、ケアマネ難民という言葉がこのところテレビや新聞・雑誌等で出てくるのが目に留まります。ケアマネジャーも制度が始まりまして25年、ケアマネ難民なんて言葉がこの時点では出てくるとは思いませんでしたが、高齢化問題でなかなか若い方の育成ができていないのも事実で、ケアプランをお願いしますと地域包括支援センターさんからご依頼をちょうだいしても、上限設定で1人当たり何人までとい</p>

	<p>う決まりがある中で動いているものですから、最近は各事業所でもケアマネジャーさんで退職される方も出てきていると聞くこともあり、なかなか厳しい時代となってまいりました。そういった意味でも、こういった尾張旭市内の地域の介護サービス事業者様と連携をしたり連絡を取ったりというところで、地域包括支援センターさんを中心に各部会をいろいろ開催していただいて、そういったものにも参加をさせていただいております。</p> <p>ケアマネジャー側からいたしましても、人材不足というものは本当に大きな課題となってきているというところは私の中では日々痛感している次第でございます。</p>
小 塩 会 長	<p>貴重なご意見ありがとうございました。</p> <p>制度ややる気持ちはあっても、なかなか人材の制限によって活動が上手くいかないというようなところをご説明いただけたかなと思います。</p>
岡 田 委 員	<p>思いつきにはなりますが、先ほどの人材を育成する、人を集めるということはとても大事だと思っています。地方だと就労する方に対して古民家を改築して何年間は家賃はいらぬよといった優遇制度がありますよね。他の県でも、若い人を集めるためにそういった優遇措置を取っているところが他の事業でも結構あると思います。そのため、先ほども育成が大事という話がありましたが、若者を集めるためにも、制度的に補助はなかなかできないと思いますが、尾張旭市が経営している民間のそういったものがあれば何年間は無償にする、昔は公務員になると奨学金が半額などそういったものもあったので、ケアマネジャーになるために大学などに行くのであれば市として奨学金制度などをできないか、そういったことを全般的に考えて若い人がケアマネジャーに行けるような制度を作ってほしいなと思いました。</p>
小 塩 会 長	<p>ありがとうございます。</p> <p>思いつきとおっしゃいましたが、私も教育をしておりますので非常に魅力的だなと思いました。やはり学生や若い人たちが魅力的に感じる、「そっちに行こうかな」と思えるということが大事ですし、介護報酬があるのでお給料のことも厳しいとなると奨学金の話はなるほどと個人的に思いました。</p> <p>皆様のちょっとしたアイデアなどが今後大きく制度になっていくこともあるのかなと思いますので、どんどんそういったご意見をいただければなと思っています。</p> <p>他に御意見、御質問いかがでしょうか。</p> <p>ないようですので、次の議題に移りたいと思います。</p>

<p>地域包括支援センター 星原次長</p>	<p>議題(6)「生活支援体制整備事業の実績報告について」地域包括支援センターからご説明をお願いいたします。</p> <p>** 説明 **</p>
<p>小塩会長</p>	<p>ご説明ありがとうございました。 こちらについて御意見、御質問ございましたらお願いします。</p> <p>サポーターのなり手もなかなか厳しいところがあるのかなと思いますが、先ほどご説明がありましたように若い人たちの参加もあるということで、今後も続けてまた盛り上げていてもらえるといいのかなと思いながら聞かせていただきましたが、いかがでしょうか。よろしいですかね。</p> <p>御意見、御質問ないようですので、次の議題に移ります。 議題(7)「第10期高齢者保健福祉計画の策定について」事務局から説明をお願いいたします。</p>
<p>事務局</p>	<p>** 説明 **</p>
<p>小塩会長</p>	<p>ご説明ありがとうございました。 ただいまの説明について、御意見、御質問いかがでしょうか。</p> <p>ないようですので、次の議題に移りたいと思います。 議題(8)「その他」について事務局からご説明をお願いいたします。</p>
<p>事務局</p>	<p>** 説明 **</p>
<p>小塩会長</p>	<p>ありがとうございます。 組織が変更ということで連絡先等迷われることもあるかと思いますが、しばらくの間は長寿支援課の下の段に書いてあるこの連絡先へお願いいたします。 この件につきまして御意見、御質問等ありますでしょうか。</p> <p>御意見、御質問もないようですので、以上を持ちまして、本日の議題は終了とさせていただきます。</p> <p>事務局から今後の日程を含めた連絡事項等をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>** 説明 **</p> <p>・今後のスケジュール</p>

<p>小 塩 会 長</p>	<p>(次回 令和8年7月頃予定)</p> <p>(第10期高齢者保健福祉計画の策定について、アンケート集計結果、地域包括支援センターの運営実績説明等)</p> <p>1点ご報告として、先ほどはケアマネージャーさんや介護人材の確保の関係でいろいろなご意見をいただきましてありがとうございます。今後の参考にさせていただきたいなと思っております。市として何かやることができないかなということは今後も考えていきたいなと思っておりますのでご意見等よろしくお願いたします。</p> <p>その中で、今審議中のものにはなりますが、令和8年度の当初予算に介護支援専門員の方々の新規の取得と更新の研修費につきまして補助金の予算の要望をしているところです。所属されているケアマネージャーさんの更新に対して事業者様が補助を出すというかたちで負担をしていただき、市の方から8分の3の補助を行い、8分の5を事業者様に見ていただくというような制度を検討しているところです。詳細が固まり次第ホームページや該当する事業者様の方には直接メールでの周知を予定しておりますのでよろしくお願いたします。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>これをもちまして、令和7年度第3回尾張旭市介護保険運営協議会を終了させていただきます。本日は長時間に渡り御審議いただきまして、ありがとうございました。</p>
----------------	--